

「奈良県第二次情報システム最適化計画」の取組状況の公表について

<奈良県第二次情報システム最適化計画の取組状況について>

奈良県第二次情報システム最適化計画は、「災害への備え」「セキュリティ対策の向上」「業務効率の向上」「ITガバナンス強化」「コスト適正化」を目的として、平成25年度に策定されました。平成26年度からの5カ年で、上記目的に基づき情報システム開発運営の全体最適化を進めていきます。

平成30年3月現在の、取組状況は次のとおりです。

奈良県第二次情報システム最適化計画の取組状況（平成30年3月現在）

項目	取組内容	進捗	備考
1.番号制度への対応	<ul style="list-style-type: none"> 番号制度の導入に向けて、統一的に宛名を管理する団体内統合宛名システムを平成28年度より運用開始 平成29年7月からの団体間連携に向けた総合運用テストを実施 	H29実施済	
2.災害への備え	<ul style="list-style-type: none"> 平成26年3月に奈良県ICT部門業務継続計画3.0版を策定 	予定通り	
	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年2月から、業務データの遠隔地バックアップを実施 	予定通り	
3.共通基盤・共通機能	<ul style="list-style-type: none"> OTP（ワンタイムパスワード：1回限りのパスワード）トークンを利用した個人認証の導入によるセキュリティ強化 	H27年度実施済	
4.ハードウェア統合	<ul style="list-style-type: none"> 平成26年度から、仮想化技術を用いた基盤によりハードウェアを集約化 	予定通り	コスト削減効果：2 43百万円（H26～H30の累積見込）
5.個別業務システムの統合 8.情報セキュリティ対策	<ul style="list-style-type: none"> 分散調達されているネットワーク機器等の一括調達を実施。 標的型攻撃対策とセキュリティマネジメントサービスを導入することで、新たな脅威に対応 	H27年度実施済	
6.ネットワーク最適化	<ul style="list-style-type: none"> ネットワーク認証の導入 無線LANの導入 	検討中	
7.汎用機に関する検討 9.最適化推進体制強化 10.ソフトウェア標準化	<ul style="list-style-type: none"> 汎用機継続利用とオープン化の経費比較により、より安価な継続利用を選択 適用ライセンスの最適化により、調達コストを適正化 	予定通り	